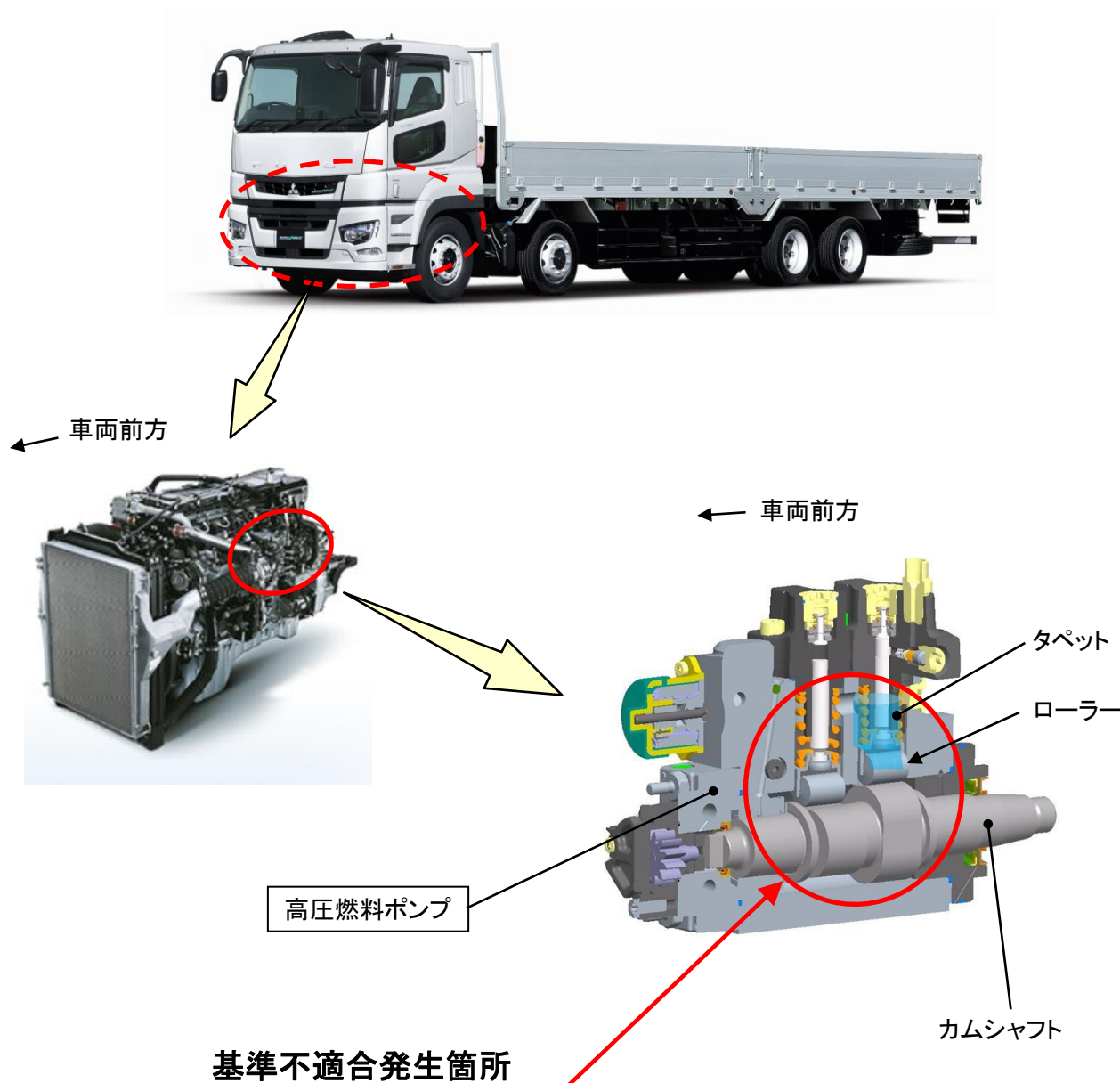


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

大型トラック・バスの高圧燃料ポンプにおいて、タペットとローラー間およびローラーとカム間を潤滑する燃料膜厚が不足しているため、これらの摺動面に摩耗が生じることがある。このため、ポンプストロークの減少や摩耗粉による燃料フィルターの詰まりが生じて燃料の供給が不十分になり、突然のエンジントールや再始動不能に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、高圧燃料ポンプを点検し、不具合品が装着されていた場合は対策品の高圧燃料ポンプ一式に交換する。

また、燃料タンク内に摩耗粉が認められた場合は、燃料フィルター一式を新品に交換すると共に、高圧燃料ポンプから燃料タンク間の戻り側燃料ラインの清掃を実施する。

注： は、不具合品が装着されていた場合に対策品と交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、白色ペイントを塗布する。

トラック：シリンダーブロック左側後方の角部

バス：車両左後部の点検リッド裏の後方上部